

平成23年第2回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者	
6月10日(金)	午前	1	齋藤 廣吉 議員
	午後	2	中島 清一 議員
		3	樋浦 恵美 議員
		4	本多 了一 議員
13日(月)	午前	5	田辺 博 議員
		6	埴 豊 議員
	午後	7	大原 伊一 議員
		8	中島 義和 議員
		9	土田 昇 議員
14日(火)	午前	10	小林 由明 議員
		11	渡邊 雄三 議員
	午後	12	齋藤 信行 議員
		13	中條 征男 議員
		14	山崎 雅男 議員
17日(金)	午前	15	丸山 吉朗 議員
		16	タナカ・キン 議員
	午後	17	齋藤 紀美江 議員
		18	阿部 健二 議員
		19	長井 由喜雄 議員

平成23年第2回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	齋藤 廣吉	<p>1. 本市において大規模防災訓練と避難訓練の実施を</p> <p>(1) 合併後の総合防災訓練の実施状況を伺う。</p> <p>(2) 東日本大震災を教訓として、新しい避難訓練等を考えているか。</p> <p>(3) 市民が避難場所を認識していると思うが徹底を図るべきでないか。</p> <p>(4) 保育園、幼稚園、小中学校でも訓練の実施をしていると思うが、どのような訓練をしているか、また、今の訓練で十分か。</p> <p>(5) 自主防災組織の組織率は。</p> <p>2. 分水サンスポーツランドについて</p> <p>(1) 1号棟になだれ止めをつけてはどうか。</p> <p>(2) 2号棟の暖房装置は無駄ではないか。燃料ガスの年間使用料はいくらか。</p> <p>3. 分水さくら公園について</p> <p>(1) この4月オープンしたさくら公園の入り込み人数が分かたら推定でもよいがお聞かせください。</p> <p>(2) 現在、簡易トイレが3個あるが、それで十分と思うか。</p> <p>(3) 遊具も1個もないが、遊具の必要性はないのか。</p> <p>4. 昨年、一般質問したが、検討した結果どうなったか</p> <p>(1) 防災行政無線の有効利用チャイムはどうなったか。</p> <p>(2) 道の駅周辺施設の窓口一本化について検討すると答えておられたがどうなったか。</p> <p>(3) 窓口の一本化が難しいければ定期的な会合を開くべきと思うがいかがか。</p>
2	中島 清一	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 東日本太平洋沖でマグニチュード9.0の大地震が発生した。想定外とも言われ、予想をはるかに超える大きな地震や津波は多くの人々の命を奪ったばかりでなく、わが国の経済に暗い影を落としている。また、原子力発電所の事故は、生活や産業など広い範囲に影響を及ぼしている。今回の震災を教訓にして危機管理体制の見直しや、市民を守る対策について今一度検証してみる必要があると思うが市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 今回の原発事故はレベル7と格付けされた。脱原発など賛否両論があるが、原子力発電について市長の考えは。また、発電コストに課題もあるが自然エネルギーへの転換についての考えは。</p> <p>(3) 南相馬市の方々をはじめ避難所生活を余儀なくされていますが、本市の支援に対して避難者の評価はどうか。また、今後の避難所運営のあり方や支援についての考えは。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
2	中 島 清 一	<p>(4) 本市は柏崎刈羽原子力発電所から30キロ圏内にあるが対策について市長の考えは。</p> <p>(5) これまでに市が受け付けた義援金の取り扱いや利活用は。</p> <p>(6) ハザードマップに指定されている避難場所について、適切かどうか検証して みる必要があると思うがいかがか。</p> <p>(7) 被災者の就労支援としての臨時職員採用計画はあるか。</p> <p>(8) サマータイムの導入について考えは。</p> <p>(9) 原発事故による本市の産業への影響と対策は。</p> <p>2. 環境問題について</p> <p>(1) 政府は電力不足解消に向けて節電の目標値を、企業（鉄道、病院等は例外）家 庭とも一律15%としたが、本市としての節電対策について伺う。</p> <p>(2) クールビズや節電ビズの対応はどのように考えているか。</p> <p>(3) 節電対策として、民間企業では土・日曜日を出勤日にして平日に振替休日とす る計画がある。その場合、市内の保育園に子どもを預ける家庭に対し、土・日 曜日の開園を要望したいがいかがか。</p> <p>(4) がれきの処理が問題となっている。本市に対して受け入れの要請はあるか。</p> <p>(5) 太陽光発電システムを導入する住宅に更なる補助を求めたいがいかがか。</p>
3	樋 浦 恵 美	<p>1. 燕市地域防災計画について</p> <p>(1) 平成18年度に燕市地域防災計画が策定されているが、このたびの東日本大震 災を受けて、燕市として見直しが必要だと思うが、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 自主防災組織について</p> <p>① 燕市において、自主防災組織はいくつあり、訓練を行っている組織はどのくら いあるのか。今後、自主防災組織の強化をしていくことが重要だと思うが、市 の考えを伺いたい。</p> <p>② 災害時要援護者に対する防災知識（要援護者向けのパンフレットなど）の普及 や、地域住民の協力体制はできているのか。</p> <p>(3) 避難体制の整備について</p> <p>① 停電時における防災無線の電源の確保はできているのか。</p> <p>② 避難場所（施設）について、施設の老朽化などにより見直しを図っていく場合 もあると思うがどのように考えているのか。</p> <p>2. 教育環境の整備について</p> <p>(1) 学校給食センター建設について</p> <p>① 吉田地区、分水地区の学校給食センターを統合し、平成23年度中に基本計画 を作成すると伺っているが、今までの公設公営、民設民営としての十分な検証 をされた上で基本計画が作成されていくのか、市の考えを伺いたい。</p> <p>② 保護者に対して理解を得ることが重要だと思うが、どのように考えているのか。 (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	樋 浦 恵 美	<p>③施設統合による事業効果が示されているが、具体的にどう考えているのか。(地産地消の推進、アレルギー食への対応、ランニングコストの縮減など)</p> <p>(2) 吉田地区統合保育園整備事業について</p> <p>①就学前教育施設として、幼稚園、保育園の機能を備えた「こども園」の構想は考えているのか。</p> <p>②保育サービス拡充のため、民営化により今までどおりの保育水準の維持だけでなく、サービスの向上を目指す上でも保護者に対しての理解を得ることが重要だと思うが、市の考えを伺いたい。</p>
4	本 多 了 一	<p>1. 原発の「安全神話」をどうとらえてきたか、また今後の対応は</p> <p>(1) 原発は絶対安全という、いわゆる「安全神話」砕け散ったのが今度の大地震による東京電力福島第一原子力発電所の事故だ。自民党政権時代から進められてきた原子力発電所建設。市長は今度の事故をとおして、原発の「安全神話」にどのような感想を持たれるかを問う。</p> <p>(2) 柏崎刈羽原発の危険性も当然考えられる。燕市は分水地区まで30キロ圏内に入るといわれるが、その安全確保について燕市として国、あるいは東京電力に特段の注文をつけるべきでないか。</p> <p>2. 介護保険制度について</p> <p>(1) 在宅介護手当の見直しには断固反対するが、これは明らかに福祉の後退だ。現金給付より現物給付がよりよいと考える鈴木市長は、介護の制度を現状からどのように前に進めようと考えているのか。</p> <p>(2) 市は日常生活圏域で高齢者を対象とする悉皆調査^{しっかい}を行い、そのニーズをつかむ必要があると考えるがどうか。</p> <p>(3) 来年度制度の見直しにあたって、特別養護老人ホームの新設を考えているのかどうかを問う。</p> <p>3. 国民健康保険の患者負担の減免について</p> <p>(1) 燕市はこの減免基準を設けているのか</p> <p>(2) この件について国の通知は市に届いているのかどうか</p> <p>4. 市税などの延滞金の減免は可能か</p> <p>(1) 地方税法第326条第3項で、延滞金を減免する法的根拠が示されているが、税務当局はこれをどう解釈しているか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
5	田 辺 博	<p>1. 高齢者保健福祉計画、第5期介護保健事業計画の取り組みについて</p> <p>(1) 第4期計画で入所できなかった在宅待機者 238 名の方、第5期計画で救護する のか。</p> <p>(2) 高齢者を社会弱者としてではなく、その潜在能力を社会に活かす仕組みを作る べきと思うが。</p> <p>(3) 一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯が増えているが、平成 27 年には団塊の世 代が前期高齢者になることから、思い切った福祉計画を作るべきと思うが。</p> <p>(4) 団塊の世代の前期・後期高齢者時代を迎えるとき、</p> <p>①行政だけでは無理ではないか。</p> <p>②民間活力を導入してはどうか。</p> <p>③民間に規制緩和を図り安価でより良いサービスが提供できるのではないか。</p> <p>(5) 地域から離れ市外の施設に、しかも高価な入所費を支払って入所されている方 が数多くおられますが、福祉基本理念からみた場合どのように考えられますか。 また、何人くらいおられるか。</p> <p>(6) 在宅サービスを強化し家族が安心して在宅介護できるようにしては。</p> <p>(7) 燕市ではいろいろな介護予防事業を立ち上げているが市民に分かりにくい。分 かりやすくしては。</p> <p>(8) 第5期計画では、地区公民館を積極的に介護予防のために利用することを考え ては。地域包括支援センターを強化しセンターを独立させ、地域住民が気楽に 訪問できる地区公民館を開設しては。</p> <p>(9) 高齢者に優しい燕市にしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>2. 今後の防災計画について</p> <p>(1) 柏崎刈羽原子力発電所に、もし事故があった場合 30 km 以内に燕市も入る。 最悪の事態を想定し計画を立てておくべきと思うが。また、地震・津波に対 して構造はどのように設計されているのか。</p> <p>(2) 燕市では耐震不足の建物に補強工事を実施しているか。震度何くらいに耐えら れるように工事されているか。</p> <p>(3) 宮城県沖地震後 1981 年の建築基準法大改正で新耐震基準となり、現在も使わ れていると理解しているが間違いはないか。</p> <p>(4) 阪神大震災では 81 年以降建てられた建物の 80%が被害なく、旧耐震基準の建 物は 80%が倒壊などの甚大な被害でした。燕市でも旧耐震基準の建物が数多 くあると思うが、調査されたか。また、今後どのように指導されるか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	埜 豊	<p>1. 財政問題について</p> <p>(1) 東日本大震災後、およそ4兆円規模の第一次補正予算が成立しただけの状況下で、その償還の多くを国に依存する燕市財政運営の問題点について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付税の認識 ・ 平成27年度以降について ・ 各種補助金が現行通りの水準が維持されるのかなど <p>(2) 震災後の燕市産業の行方について</p> <p>阪神淡路震災のおよそ3倍の規模で進む事業の整理廃止、さらに電力供給の不安定化による大手企業の海外移転などが見込まれる状況下での燕市産業界の今後について。</p> <p>(3) 燕地区の公共施設に多くの借地があることについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その歴史的経緯について ・ これからの取り組みについて
7	大 原 伊 一	<p>1. 東日本大震災が本市財政と産業に与える影響、ならびに放射能の暫定基準値について</p> <p>(1) 3月11日に日本の近代史にとって最大の危機とも言える東日本大震災が起こり、地震と津波その上に福島第一原発のメルトダウン（炉心溶融）などの原発史上初めての放射能被害が重なり二重苦・三重苦の事態となっている。これから本格的に始まる復興を考えたとき、現在の日本の抱えている膨大な財政赤字の中、当然国において今年度の予算配分の見直しが行われると思われるが、今後の見通しについて。</p> <p>(2) 国の震災対応補正予算も足踏み状態で見通しもなく、夏のお盆までにすべて完成すると約束していた仮設住宅も危うさが出ている状況である。そんな中、本市産業に与える影響をどのように捉えているのか。復興に向けた国の方向が定まらない中、政府の大幅な対応の遅れで産業全体の停滞を招く人災の様相になってきている。本市産業にとっても危機的状況に拍車をかける事態にならないよう、市長としてどのような対応を考えられているのか。</p> <p>(3) 地震・津波による福島第一原発からの放射能被害が拡大している中、現在、政府の発表している放射能暫定基準値で住民の健康を守れるのか非常に不安である。本市も柏崎刈羽原子力発電所の30km圏内地域があり、無関心ではられない事態である。放射線の怖さは10年後20年後の発がん性の恐怖とも言われている。</p> <p>飲料の暫定基準値は幼児で1ℓ当たりヨウ素が100ベクレルとなっているが、国際法で定められた原発の排水基準がヨウ素40ベクレルであり、WTOの定めた平常時の基準は、1ベクレルである。国の暫定基準では、原発の排水以上の高い放射能物質を含んだミルクを幼児が飲むことに不安を感じるがいかがか。原発を持つ県の市長として国に是正を求めるべきでないか。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
7	大 原 伊 一	<p>2. 合併して5年経過したが補助金・各事業委託料の見直しが必要な時期でないのか</p> <p>(1) 合併して5年が経過し、燕市としての一体感も生まれつつあると感じるが、未だに補助金・事業委託 制度の統一性に欠けるものが見受けられる。</p> <p>確かに補助金は、毎年5%ずつカットされてきており、徐々にであるが見直されてきていることは予算書を見ても分かるが、22年度当初予算から23年度当初予算を比較すると、新しい要望を受けて9,676万円も大幅に増額となった。地場産業振興策としてのリフォーム助成5,000万円などが要因であると考えますが、国の財政も破綻状態が刻々と近づきつつある中、本市の経常収支比率の改善が求められていることは明らかである。見直しのために学識経験者による第三者委員会を立ち上げることを考えられないのか。</p>
8	中 島 義 和	<p>1. 東北大震災を教訓として</p> <p>(1) 公共施設の耐震化対策の現状は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 防災訓練の継続、徹底を。</p> <p>①燕市における自主防災組織率は、また、未組織地域への指導は。</p> <p>②住宅火災報知器の設置を5月末までにと義務付けられている。一般住宅の設置状況は。また、独居老人世帯への設置は。</p> <p>(3) 東日本大震災による被災者が日本国中に一時避難した。燕市でも市内3施設で受け入れ実施したが、行政としてどのように感じ、そこから何を学んだか。</p> <p>①1市2町の合併前まで町名が同じとの縁で、平成元年から15年にかけて「全国吉田町未来会議」の名の下、官民あげての交流が行われ、災害時の相互応援協定が結ばれていた。燕市では現在近隣市町村間で相互援助協定が結ばれているが、広域的に拡大しては。</p> <p>②震災によるライフラインが大打撃を受け、未だに復旧のめど立たない地域もある。市内には膨大な市有地があり、自然エネルギー活用策としてのソーラー発電施設の検討、研究を。</p> <p>2. 教育振興対策について</p> <p>(1)「燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画」の下、関係地域で民営化に向けた説明会が行われている。</p> <p>①28園の幼稚園、保育園のうち、平成29年度までに21園に統合計画案が示されている。計画地域住民、保護者の捉え方はいかがか。</p> <p>②統合、民設民営で3保育園を旧南小学校跡地に新設計画で事業が動きつつあるが、吉田南小学校区のこれからの人口増加が想定される。統合保育園建設にはそれらを考慮した取り組みが必要。</p> <p>③民営化移管先法人の形態は、原則市内の社会福祉法人、または学校法人とあるが、市内業者の応募が少ない場合、県内に拡大はあり得るのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	中 島 義 和	<p>(2) 小学校で食育の一環として学校田を地域住民の協力の下、取り組んでおられる。種播から収穫消費まで一連の作業に身を持って体験し、お米と農業の大切さを学んでおられる。市内小学校の取り組み実態を伺う。</p> <p>①お米からパン作りの出来るホームベーカリーが市販されている。まず、学校田から収穫されたお米から「米パン」を食する方策を推進しては。</p> <p>②障がい者の働く場の一環として、米粉パンを学校給食にと問うているが、その後の協議はどのようになったか。</p> <p>③地産地消と声高に謳われておるが、地元農業振興の観点からも米飯給食の完全実施実現のために、これから計画されている給食センター隣地にパン製造施設を、可能であればNPO法人と障がい者団体のコラボで考えては。</p>
9	土 田 昇	<p>1. 農業問題について</p> <p>(1) 菅首相は昨年の10月1日に、突如としてTPP（環太平洋経済連携）に参加検討を表明し、今年の1月24日の国会が開幕する中での施政方針演説でも、今年の6月頃をめどに判断すると表明いたしました。これに対して、農業団体、関係者とともに消費者や労働者、医療関係、福祉分野など広範な団体から反対する声が全国的に強まっています。現在政府は、東日本大震災による救援対策と福島第一原発事故対策に対応されていますが、このTPPについてはまだ結論が出ていません。先の3月議会で燕市も反対の請願が採択されているので、過去の経過も含めて市長の見解について伺う。</p> <p>(2) TPP問題と農業者戸別所得補償制度はどう考えても整合性がないと思うが、その点についても市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 燕市の昨年度の農業者戸別所得補償制度の実績（金額）について伺うと同時に、今年度の見込みについても伺う。</p> <p>(4) 今年度の減反面積と、その対応作物大豆等々、調整水田も含めて作付面積について伺う。</p> <p>2. 義援金の取り扱いについて</p> <p>(1) 4月19日付けの新聞報道によれば、見出しで被災3県仮設住宅入居者に、台所、食卓用品3千セット、19種類40点、3万円の高級品として、その内容について3千セットで総額約1億円、このうち業界団体や有志企業からの調達などの経費として、市民や企業、団体から寄せられた義援金の一部、3千万円を充てる方針で、鈴木市長は「市民から寄せられた義援金の使い道が、具体的にどんな形で東北の被災地の方々に届くか見える形にしていきたいとも考えた」と報道されているが、その内容について詳細に伺う。</p> <p>(2) 今日現在（私の一般質問の日）の義援金の総額について伺うし、使った金額についても伺う。</p> <p>(3) 業界団体、ハウスウエア組合、洋食器組合、有志企業の協力を得て寄贈するとしているが、組合に支払った金額と有志企業に支払った金額（企業名も含めて）その他も含めて伺う。</p> <p>(4) 配分委員会はどうなっているのか、配分委員会で相談したのか伺う。</p> <p>(5) 3千セットに決定した理由について伺う。</p> <p>(6) 総額の金額の使途について今後どのように考えているか伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	小林 由 明	<p>1. 有事の際の危機管理について</p> <p>(1) 他自治体・民間団体との災害時の支援協定について 今般の震災のように、数県にわたる広範囲での大災害が発生し、近隣自治体等からの支援が期待できない場合に備え、遠方自治体等との災害時の相互扶助の協定等結ばれているか。</p> <p>(2) 情報処理について</p> <p>①有事の際の混乱時において、情報通信・管理は万全の機能を果たせるものとなっているか。</p> <p>②十分な情報収集のために、どのような仕組みを作っているか。</p> <p>③犯罪抑止にも効果をあげているウェブカメラを、市内各所に設置できないか。</p> <p>④市と市内自治会や自主防災組織との情報共有について、どのような仕組みが構築されているか。</p> <p>⑤市民への情報提供はどのように行うか。</p> <p>⑥避難所と設定される場所に、無線機などの双方向通信機器の設置はできないか。</p> <p>(3) 今般の震災や、近年起こっている大震災から得られた教訓をどのように活かすか</p> <p>①燕市の既存の仕組み・装備で検討を要すること、改められたことなどあるか。</p> <p>②災害時の被害を減少させるため、今後注力が必要な点は何か。</p> <p>③市内全域の被災を想定し、全市的な一斉訓練を行っていただきたいがいかがか。</p> <p>④何らかの災害によって燕市民が他地域へ避難する必要がある場合、どのように対応するか想定しておくべきと思うがいかがか。</p> <p>⑤自衛隊、消防隊、警察官などの退職者や医療関係者などで構成する、予備自衛官制度を模した市の危機管理の一翼を担う機関を設置していただきたいがいかがか。</p> <p>⑥災害大国といわれる日本にあって、市民個々の災害への備えは地域社会でのマナーとも言える。地域防災計画にうたわれている、市民の自己防衛意識の高揚は、防災という観点から推進するだけでは足りず、社会教育という観点から自主自立の精神を涵養して行く中で、生涯にわたり醸成し続けていくべきであると思うがいかがか。</p> <p>2. 市長の政治姿勢について</p> <p>市長は、燕市が「日本一輝いているまち」となるよう尽力されていると思うが、今般の震災、昨今の経済状況、異常気象を受け、「つよい防災、つよい経済、つよい農業」といった「つよい燕市」ということも意識して、今後の市政運営に取り組んでいただきたいがいかがか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	渡 邊 雄 三	<p>1. ボランティアポイント制度について</p> <p>(1) 世代間共助としてのボランティアポイント 支え合う心の大切さ、市民の皆さんが、地域への関心を更に持っていただくためにも、世代間ボランティアポイント制度の導入が必要であると思いますが、お考えを聞かせていただきたい。</p> <p>(2) 元気ポイント制度について 介護保険を利用せずに元気に暮らしている65歳以上の高齢者本人に対して、介護予防に取り組んでいることを評価してお元気ポイントのようなサービスを提供し、健康増進への関心を広めていくことが重要であると思いますが、お考えを聞かせていただきたい。</p> <p>(3) 介護支援ボランティアポイント制度について 高齢者が元気に人のためにボランティアを行う。これが結果としてボランティアポイントにつながり、介護給付費の抑制にもつながると思います。共助社会を支える上でも重要であると思いますが、お考えを聞かせていただきたい。</p> <p>2. 救急医療情報キットについて</p> <p>私たちの住む燕市も高齢化が進み、高齢世帯・独居老人が増加している。そうした中高齢者の方々の安心・安全、持病を持っている方の安心のためにも、救急医療情報キットの活用を検討していただきたいが、お考えを聞かせていただきたい。</p> <p>3. 市職員の対応について</p> <p>平成23年3月議会で施政方針を述べました、基本施策5の行財政改革の推進で、1つに組織の強化・2つに職員一人一人のレベルアップとありますが、大切なことだと思うが、もっと大切なことがあると思います。 それは、市民一人一人に対する親切・丁寧な対応とともに市職員は、市民の一人一人の公僕との自覚がもっとも大事…心こそ大切と思うが、お考えを聞かせていただきたい。</p> <p>4. 市民・子どもたちの安心・安全</p> <p>放射能測定については、原発が収束しない中、関東周辺のみならず燕市においても放射能汚染を心配する方々が増えている。 特に小さな子どもを育てている親、または、屋外で野球等スポーツをしている子どもたちの親、監督・コーチ、保育園園長、職員等、こうした方々が、安心して仕事ができるようにするためにも、市内での放射能測定はできないでしょうか、お考えを聞かせていただきたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 2	齋 藤 信 行	<p>1. 大河津分水路改修事業について</p> <p>(1) 本年秋に予定されている大河津新可動堰の通水式に際し、燕市としての行事予定は旧分水町のと看でしたが、新洗堰の通水の前には町としていろいろなイベントを行いました、燕市としては、学校なども含めた中での考えなどはあるのかお伺いしたい。(旧分水町のと看、新洗堰の水上シャトルバスの運行もあった)</p> <p>(2) 新可動堰完成後の下流狭窄部改修の要望状況について 分水路の起点の川幅は約720mですが、下流に進むにしたがって狭くなり、河口はわずか180mしかない。1982年の集中豪雨では良寛ゆかりの「夕ぐれの岡」で、当時の堤防から「手が洗えるほど」まで増水した。また、信濃川河川事務所のシミュレーションでは、150年に一度の豪雨で右岸堤防が決壊した場合、分水庁舎では約2.5m浸水。(新庁舎はそれより低い所に建つので、新庁舎の水害対策) これらを踏まえ、市長の国への要望状況についてお伺いしたい。</p> <p>(3) 右岸堤防の高規格化について 有事に備えた河口の拡幅と、右岸堤防の強化にはスーパー堤防ということですが、国の事業仕分けで「廃止」ということでありますが、近隣住民からしてみれば、河口部の山を削った土砂を利用してのスーパー堤防であり、このへんも考えた中で市長の国への要望状況についてお伺いしたい。</p> <p>(4) 右岸堤外に新たに築造される高水敷の有効利用について 新可動堰完成後は一部は保存される予定の可動堰を含めた中で、分水さくら公園などとのマッチング等を考え、国なり県の施設の誘致(燕市内で他の地域も含め県営・国営)などに対する市長の考えをお伺いしたい。</p> <p>(5) 観光名所としての大河津分水について 新可動堰完成後の周辺の流域自治体との連携によっては、2009年に土木技術などが評価され、「大河津分水路」として国の近代化産業遺産に認定され、歴史・文化をアピールすることにより、今年燕市では金属洋食器製造開始100年、燕市は節目が重なる。また、燕市で「アノソラノアオ」の映画の撮影などもあり、市長として観光としての燕をどのような方向へ持っていくのかお伺いしたい。</p> <p>2. 防災対策として洪水時及び地震時の大津波警報発令時などの避難場所について</p> <p>(1) まるごとまちごとハザードマップの実施状況は。 市として市民に各自治会などでの説明会などは考えているかお伺いしたい。</p> <p>(2) 緊急時避難場所の見直しは。 各自治会の市民によっては、よその自治会が近い場合もあると思いますが、市民によってはどこへ行ったらよいか迷っている人もいるみたいです。各自治会で防災の話をしてよいいのではないのでしょうか。</p> <p>(3) 防災協定について いつ起こるか分からない災害の中で、今後、東日本巨大地震のような事態になった場合、各自治体と広く防災協定を結んでいたほうがよいいと思いますが、市長の考えをお伺いしたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	中 條 征 男	<p>1. 災害対策について</p> <p>(1) 災害時での災害情報や避難方法に関する市民への情報手法はどのような考えであるか。</p> <p>(2) 燕市洪水、土砂災害ハザードマップ（平成20年作成）で充分だと思うか。地震時等のマップも必要であると思われるが作成する方針はあるのか。</p> <p>(3) 原発事故を踏まえ、再生可能エネルギー（太陽光、風力、バイオマス等）の重要性を重視し、本市として取り組みの考えはあるのか。</p> <p>2. 農業政策について</p> <p>(1) 東日本大震災などで宮城、福島両県で水稻が一部作付けできなくなった問題で、燕市は県間調整で240トンの肩代わり生産を行うが調整金はどれ位の額になる見通しであるのか伺う。</p> <p>(2) 今年度の生産調整状況を伺う。</p> <p>①転作作物（大豆、燕市ブランド作物等）の状況</p> <p>②水稻直播栽培作付面積の推移</p> <p>③米粉用米、飼料用米、加工用米等は前年度と比べてどのようになっているか。</p> <p>④荒廃農地に対して、どのように指導していく考えか。</p> <p>⑤市景観作物（田んぼアート）の地権者に対しての地代はどのような基準で支払いを行っているのか伺う。</p> <p>⑥市は農業活性化対策をどのように推進していく考えか伺う。</p>
14	山 崎 雅 男	<p>1. 地域の実態に即したまちづくり協議会を展開するために</p> <p>地域コミュニティーは、地域の文化伝承・福祉の充実・環境保全・人権の確立・青少年育成等々、地域の魅力に気付く地域の生涯学習の場であり、人材育成を備えているが、次のことについて伺う。</p> <p>(1) 地区まちづくり協議会、地区間で住民のまちづくり協議会に対する捉え方に温度差が感じられるが、まちづくり協議会の果たす役割と位置付け、認識についての見解を伺う。</p> <p>(2) まちづくり協議会への市の支援体制と、補助金の今後の方向性について。</p> <p>(3) 13地区まちづくり協議会の主たる事業計画の住民参加、現状認識と今後の課題について。</p> <p>2. 公共下水道行政・整備について</p> <p>(1) 現在の公営企業を取り巻く環境は厳しさを増しており様々な課題や問題を的確に把握、対応することが重要。下水道事業に課せられた責務を十分に認識し、今後より一層効率的な経営の推進、建設投資の適切な実施、積極的な普及促進活動の実行に向けての見解を伺う。</p> <p>(2) 下水道区域内を含め処理能力の優れた合併処理浄化槽の設置促進に向けての考え方について伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	山崎雅男	<p>(3) ①下水道整備事業の進捗状況と今後の見通しについて。 ②直近の下水道処理区域内の接続状況と接続率そして今後の接続率向上のための方策について。</p> <p>(4) 地方公共団体の所有または使用に係る土地等、下水道事業受益者減免措置が行われているが市管理下等の各公共施設の接続状況と将来に向けての計画性はどうか。</p> <p>(5) 燕物流センター内（当時燕商業卸団地協同組合）小規模下水道処理場は、昭和50年の処理施設で、生活環境を排水の汚染から守ることを目的とした施設で老朽化しており、組合をはじめ企業間で下水道整備を願っているが今後の具体的な計画はどうか。</p> <p>3. 市民霊園・墓地公園の墓地造成について</p> <p>(1) ①燕霊園 638 区画・小高墓地公園 244 区画・吉田墓地公園 891 区画、全て完売。市民のニーズと現状に合わせた市営墓地の運営をするべきかと思が見解を伺う。 ②市民からの墓地購入に対して相談、問い合わせの実情はどうか。</p> <p>(2) 燕市の人口規模から見て適正な市営墓地の区画数はどの位必要と思われるか。</p> <p>(3) 市として燕市民に対して墓地数が不足していることを認識しているならば墓地造成を視野に入れるべきでないか。今後の施策について具体的な墓地公園増設計画に対しての考えを伺う。</p>
15	丸山吉朗	<p>1. 磨き屋一番館の経営、運営について</p> <p>(1) 合併特例債を利用し、磨き屋一番館を平成19年に設立されました。現在では燕研磨振興協同組合に施設管理・運営業務を委託されています。設立の主旨は十分理解しております。また、燕市磨き屋一番館運営協議会等設立され助言等を行っていると聞いております。今後の経営運営をどのように考えられているか。</p> <p>(2) 特例債の最終償還時期と、毎年の返済金額はいくらか。また、早期償還することは可能なか。基本的には協同組合に対し、早期の払い下げを行ったほうが良いと考えるが、その場合どのような問題点があるか。</p> <p>(3) 平成23年度も協同組合に対し2,400万円ほどの委託を行っているが、どの時点で委託料の削減を考えているのか。また、何年後くらいが独立採算時期と考えているのか。</p> <p>2. 指定管理者制度について</p> <p>(1) 市の施設数は小さな公園等を含めると338施設（平成20年4月1日現在）あると聞いています。現在はもっと多い数と思われる。そのうち、平成23年度4月1日現在、指定管理者制度導入施設数22施設とありますが、今後どの程度まで増やす予定か。予定している施設があればお聞かせ願いたい。また、指定管理者制度には民間手法を活用してとあるが、企業経営の観点から無理があると当初から導入には反対の立場であったが、これからも導入されていく予定か。</p> <p>(2) 指定管理者制度を実施され契約続行途中であるが、その効果等について検証されたか。 (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	丸山吉朗	<p>3. 総合型地域スポーツクラブ（スポーツバイキング）の運営について</p> <p>(1) 県の肝煎りで、県内でも早い時期に旧分水町に設立されました。現在会員数800～900人、会費月1,000円と聞いております。体育協会と総合型地域スポーツクラブでは設立の主旨が違うのではないかと、その点をお聞かせ願いたい。</p> <p>(2) 通称、分水スポーツバイキング設立には、旧分水町民が熱意をもって入会、運営して育ててきました。これから吉田バイキング、燕バイキング、分水バイキングの会費はどのくらいになる予定か。また、現在分水バイキングにあるマイクバス2台はどのような扱いになるのか。資金、運営面から問題があり、体育協会の下部組織とされていますが、総合型地域スポーツクラブは旧市町別に独立運営のほうが市民サービスの面で良いのでは。</p> <p>4. 吉田南最終処分場跡地に太陽光発電の設置と、市内一般住宅、工場等への太陽光発電、LEDランプの普及について</p> <p>(1) 平成22年12月定例会で一般質問をしました、吉田南最終処分場跡地に太陽光発電の設置についての答弁は、雪国メガソーラー発電所が7億円で設置され、吉田南最終処分場跡地も同程度と答弁がありました。東日本大震災後の世の中に大きな変化が見られます。これらを受け具体的に設置に向け検討する気があるか。国、県等の補助金、発電効率も向上している現在、設置に向け見積等を取ってはいかがか。</p> <p>(2) 福島の大東電力原子力発電事故を踏まえ、太陽光発電がクローズアップされてきました。市内の一般住宅、工場等に設置を。また、LEDランプの利用等を促す考えはあるか。</p>
16	タナカ・キン	<p>1. つばめっ子かるたについて</p> <p>(1) 読み句の応募が5月31日で締め切られたが、寄せられた点数は。</p> <p>(2) 今後、読み句に絵を付けていくのだが、どういう人をお願いしていくのか。</p> <p>2. 公園の管理・整備について</p> <p>(1) 秋葉町3丁目公園について</p> <p>昨年6月定例会では私の質問『公園とは名ばかりで、植木が多すぎて、人が入れるスペースも無い。今後もこのままの状態に放置するのか。』に対して『地域の方々からのご意見やご要望もありますことから、低木の移動などの再配置を行い、公園内に空間をつくるなどの工夫をしてみたい』との答弁がありました。一年が経過したが何ら変わっていないように見えるが、どんな工夫がされたのか。</p> <p>(2) 親水公園について</p> <p>オープン時の説明では、最初の1年間は市で管理するが、2年目からは地域の人たちに管理をしてもらうという話だった。現在どのようになっているのか。 (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	タナカ・キン	<p>(3) さくら公園について</p> <p>① 4月1日にオープンし、4月中には仮設トイレが3基設置されました。しかし、トイレは工事現場でよく見られるロッカーのようなもので段差もあり、また、見るからに汚い感じのするものでした。市長は、自分も公園に行ったら仮設トイレで用を足すと言われていましたが、足の悪い高齢者や、体に障がいのある人には、不便というより使えないと思いました。燕市では、このような弱者に対してはどのように考えているのか。</p> <p>② 3月定例会では燕市都市公園条例の一部を改正する条例が提出され、大河津分水さくら公園が条例の別表第1に加えられることになりました。この条例は4月1日からの施行です。しかし、市のホームページでは、4月に入ってからもなかなか直されなかったが、4月1日で直す必要があったのではないか。現在は直されているが、いつ直されたのか。</p> <p>3. 観光振興について</p> <p>(1) 県内の観光地の観光客が大幅に減少し深刻な問題になっている。燕市も例外でなく、合併した平成18年度は約90万人もあった観光客入込数が、平成22年度は70万2,760人に減少している。この要因をどう分析するか。</p> <p>(2) 市内と市外・県外の観光客入込数の割合は。</p> <p>(3) そんな中、燕市では今年度から観光振興室を開設し、主幹として民間人を招いたことは大いに期待できるものである。高橋主幹の観光ビジョンをお聞きしたい。</p> <p>4. 横山操氏の作品について</p> <p>報道によれば横山操氏が二十歳前後に描いた5点の原画が、5月30日までに修復を終え市に戻ったという。2009年12月に横山氏の甥から寄贈された39点の内の5点が修復されたものである。また、9月には産業史料館で作品展が開かれるという。今後、これらの作品はどのような形で保管されていくのか。</p> <p>5. 東北大震災について</p> <p>4月には宮城県を視察し、5月には市民とともに岩手県の陸前高田へボランティアに行ってきた。現地を目の当たりにすると、テレビや写真では感じられない衝撃がありました。</p> <p>実際に見ることや感じることで、また燕市の防災について考えさせられることが多く、ここからの教訓を生かさなくてはと思うばかりです。議員もそうですが、市の職員ならなおのこと現地を見て、またできればボランティアをしてもらいたいと願うのです。特に若い職員に呼びかけ、職員のチームを編成し、ボランティアに行ったらいいと思うが。そういう働きかけは市のほうでできないものか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
17	齋藤紀美江	<p>1. ホームページに子どものページが必要ではないか</p> <p>(1) 「燕はひとつプロジェクト事業」として燕ジュニア検定や、つばめっ子かるたづくりをすすめているが、子どもたちに燕のことを学んでもらえる環境づくりとして、市のホームページに子どものページが必要ではないかと思うがどうか。</p> <p>2. 防災計画の見直しと総合防災訓練について</p> <p>(1) 防災計画の見直しと総合防災訓練について、以前から何回か提案をさせていただいているが、いっこうに取り組む様子が見られない。 今回の東日本大震災でも日ごろの訓練で、すぐ逃げる行動が取れ、命が助かったという証言が聞かれる。他自治体では幾多の災害後、現実に沿った防災計画の見直しや、総合防災訓練が行われている。燕市では平成18年に総合防災訓練を実施したきり、その後一度も実施されていない。実施するべきではないか。</p> <p>(2) 燕市では福島県からの被災者を受け入れている。避難されている人たちは一様に燕市の対応に対して感謝の言葉を口にされている。避難所運営にあたってはさまざまな経験をされたと思う。 防災計画には時系列の避難所運営の組織図や役割などが示されていないが、結果としてどうだったのか。</p> <p>(3) 水難事故を減らすために着衣泳を普及してはどうか。</p> <p>3. 文化の香るまちづくりを</p> <p>(1) 燕にはそれぞれの地区に誇りのもてる資源がある。燕市には人間国宝の技術保持者がおられ、吉田地区には横山操氏や亀倉雄策氏、鈴木文臺氏が、そして分水地区には良寛さんがおられた。この燕市の宝を市民にもっと知ってもらいたい。特に子どもたちに知ってもらい、ふるさとの誇りとしてもらえるような取り組みが必要ではないか。</p>
18	阿部健二	<p>1. 東日本大震災の被災地復興などに膨大なカネを必要としている国に、合併特例債のおねだりを続けるのは、いかがなものか</p> <p>(1) 国は東日本大震災復興に4兆円をつぎ込むという。テレビで見た限り、さもありませんかと思う。が、悔しいのは、その金で大津波に飲み込まれた人たちが、生きて帰って来ないことである。震災前にその金を使っていたら、どれだけの人が死なずにすんだらうか… さらに考えさせられるのは、多くの方が、指定された避難施設で溺れ死んでいることである。 ・もし大河津分水路が破堤した場合、現在計画されている避難施設で十分と言えるか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
18	阿 部 健 二	<p>(2) いっぽう、終わりの見えかい福島第1原発の事故の処理費や今後の賠償費・廃炉に要する費用などなど（賠償費だけでも8兆円と試算されているが…）どこまでふくらむのか。</p> <p>国は、東電の賠償を支援するため公的資金5兆円を投入するという。交付国債の発行によって電力会社は事業収益から時間をかけて返済でき、最終的には国の財政負担にならないとしているが（電気料金の値上げが当然あり得ることから）結果、国や電力会社のいう原発の安全神話をひたすら信じてきた国民に、その尻ぬぐいをさせる公的資金には納得できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付国債の利点として「当面、国の財政悪化を防げる」と言うが、東電の賠償が終わるまでは「国の財政悪化が続く」と見なければならぬのではないのか。 <p>(3) 先日の市民厚生常任委員会の市内視察の際、ある介護施設での話が「東日本大震災で国はあらゆる財源を見なおしており、介護保険も例外ではない」というものであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それは施設に支払われるサービス料（保険の点数）の切りつめを意味し、利用者たちの受けられるサービスの低下を意味し、ついには、介護保険税の引き上げを意味するのか。 ・何よりも心配なのは、ようやく市がショートステイ用ベッドを特養向けに転用したり、新たな施設をつくる気になっていることに水をさされないかであるが…いかがか。 <p>(4) 国は、すでに東日本大震災の復興に4兆円の補正予算を組み、東電の肩替わりのため公的資金5兆円を投入し…「介護保険も例外ではない」と地方自治体の財産にまで手を突っ込もうとしている状況で、もはや合併特例債どころではないはずである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでも新庁舎建設の合併特例債を国に強請(ねだ)り続けるおつもりか…。 ・大津波で役所が流されたり放射能を避けて、ほかのマチの施設を借りて市民サービスにつとめる自治体が少なくない中、新庁舎建設の必要性の1つ「分庁舎方式が不便だから」が、ぜいたくに見えるのだが…ついでに、大河津分水路の破堤で水深4メートルにつかってしまう「新庁舎を防災対策本部に」などもいかがか…である。 <p><u>2. 鈴木市政になって1年、市長の目から見た市の執行機関と燕市議会についてを問う。</u></p> <p>(1) 市のある事業の受益者が、入院さわぎをくり返すなどから負担金を延滞してしまい、積もり積もった延滞金が元金（負担金）の倍になって困っているという話を耳にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひたすら延滞金を加算した督促状を書いて送ることが今までの職員の仕事だったようだが、今後は、なぜ延滞金が増え続けるのかに思いを致してほしいと思うのだが…。 <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
18	阿 部 健 二	<p>(2) 3月議会で、少子化対策の“若者定住促進住宅”について市長も部長も「検討したい」ではなく「参考にしたい」と答弁されたが…「検討」とは、よく調べ考えること——であり、「参考」とは、自分の考えややり方を決める手がかりとすること——という意味であることから…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その後、何を、どのように参考にしてきたか…また、去年の12月議会の“高齢者向けコレクティブハウス”では「民間の活力・行動を利用する形で研究したい」であったし、“共存型介護”では「事業者と調査、研究したい」であったが、その研究結果は…。 <p>(3) 「ヨーロッパの風を感じてみませんか」というのが3年前の広報つぼめ4月1日号に載っていた第3回ライナーシュミット夫妻のサマースクールを案内する見出しである。が、新潟市や東京からも生徒が来るという燕市の誇るべき事業が、市の財政悪化を理由に消えてしまった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーゲン四重奏団の第2バイオリニストであるライナーシュミットさんが、燕市に来てくれること自体がまれなることと思われるが、いかがか…また、1人の（文化的価値を理解しない）職員の画策で中止になったの真相だったとも聞くが…いかがか。 <p>(4) 3月議会で「地価相場の4倍近い価格（法外な価格）で新庁舎建設用地を買ったことは、市民の税金をムダに使い、市民に財産上の損害を与えた背任行為に当たらないか」という問いへの市の答弁は「議会の承認をもらったのだから法外な価格とは言えない」であったが…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここで思うのは、市は「議会の承認」という手順を巧みに利用して、その責任の所在をぼかしているのではないか…である。 <p>(5) 最後に、燕市に避難している福島県南相馬市の人たちから「下着がほしい」と言われた市の職員が、長年市の委員会などにかかわってこられた方（かた）に電話したところ、その方から避難者名簿を求められ、職員が「個人情報の保護の意味からできない」と答えて一悶着あったという話である。</p> <p>市の職員が、避難している人たちの性別・年齢・人数を事前に調べてから電話すべきことはもちろんであるが、ここでの問題は、何ゆえ電話の先が、ボランティア活動に手ぐすね引いて待っている議員たちではなかったのか…である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その訳は、市長や市の職員が、燕市議会を、その方の属する委員会などより下の単なる追認機関と見ているからなのか…。 ・地方自治の規定のなかった明治憲法下での「市会」と戦後アメリカによって持ち込まれ民主主義の学校といわれる「地方議会」との差を、どのように認識されているか…。 ・民主主義の定義は「最大多数の最大幸福」とされているが、ハーバード大学「白熱教室」のマイケルサンデル教授は「正義（真理）を多数決で求める」ことに疑問を呈しておられる。そのことについての見解と…「数のチカラ」イコール「最大多数の最大幸福」と思われるかについて…。

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
19	長井由喜雄	<p>1. 燕市学校教育基本計画について</p> <p>(1) 「就労支援と安全安心な居場所の確保の方向性」については市の「計画」の見直しを 同計画の「放課後の子どもの居場所づくり」(答申)で書かれているように、合併前の燕地区では「児童クラブを設置できない小学校区」になかまの会を設置してきた。また、分水地区でも全域を対象とした児童クラブが一つ造られたが、遠い距離の校区では小学校内での設置が求められてきたとある。合併後は分水地区で児童クラブではなくなかまの会が設置された。 これらの経緯から見ると、なかまの会は児童クラブに代わるものとして位置付けられてきたと言っているのではないかと。また、「方向性のまとめ」の中で「すべての小学校区に子どもの安全な居場所として、児童館の設置が望まれる」としている。 ところが、「就労支援と安全安心な居場所の確保の方向性」では、なかまの会を児童福祉法上の18歳までの児童が利用できる児童館と同様の位置付けをしたことによっていくつもの矛盾した「方向性」が示されているのではないかと。 私は、子どもたちが自由に来館できる児童館と、就労支援の児童クラブの2本立てとすることで、なかまの会は発展的に解消することが矛盾のない方向性だと考える。市は同基本計画の中身を見直すべきではないかと。</p> <p>(2) 児童館・児童クラブ・なかまの会の3施設について 3施設の運営について先の答弁では、「支援体制がいつそう充実する方法を検討していく」としていたが、その後の状況はどうか。 また、職員の資質向上の問題や資格のことについては、新規採用にあたって有資格者を条件としている、ほぼ全員が児童厚生員の資格を取得しているなどとしているが、なかまの会では講習に出ても施設自体が資格取得要件に当てはまっておらず、「無資格」である指導員は時給の面でも差別的状況に置かれたままである。これらについてはどう考えているのか。改善の方策を考えているのか。</p> <p>2. 公立保育園民営化の問題点について</p> <p>(1) 民営化を進めようとしている市は、民間の現状をしっかりと把握しているか。</p> <p>3. 燕市交通公園と吉田ふれあい広場に水で遊べる施設を</p> <p>(1) 拠点公園の施設設備の充実を 吉田みなみ親水公園は、暑くなる夏場でもミスト噴水とポップアップ噴水などの設備があって、子どもたちも楽しく遊んでいる姿が見られる。この公園利用の中で噴水の効果をどう評価しているか。 異常気象が続く近年、特に暑くなると子どもの森に暑さをしのぐために親子が殺到する状況もあるようだ。公園は造って終わりではなく、公園機能を発展させていく視点を持っていくことが大事だと考える。 みなみ親水公園にある噴水と同様の施設を、交通公園と吉田ふれあい広場に造ってほしいと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
19	長井由喜雄	<p>4. 保険給付費節減の手段としてのジェネリック薬希望カードの配布効果と今後の取り組みについて</p> <p>(1) 「ジェネリック薬希望カード」の配布効果と今後の取り組みについて 昨年度「ジェネリック医薬品希望カード」が配布された。 国保の保険給付費のうち、薬の処方にかかる費用総額は合併後の平成18年の約10億200万円から年々約1億円増加し、平成21年度には13億1100万円にまで上昇している。</p> <p>燕市として「ジェネリック医薬品希望カード」を配布したわけだが、この効果については数値として把握しているところはあるか。保険者としてカード配布を実施している以上その効果を検証し、ジェネリック薬の目標数値も持ちながら調剤費用の効果的削減を図ることは重要ではないか。</p> <p>日本ジェネリック製薬協会によると20年度の数量ベースでのジェネリック薬シェアは17.6%とされ、政府も24年度までにこれを30%に引き上げること为目标としている。燕市国保でこの数字を当てはめた場合、さらにいくらくらいの調剤費用が削減できることになるか。</p> <p>全国的に見ると、新薬とジェネリック薬を使用した場合の差額を通知するサービスを行っているところもある。高知県ではこのサービスでレセプト分析も行い、生活習慣病の予防対策や保健事業に生かせる情報を得ているとしている。</p> <p>差額通知の取り組みも行うことは効果的であり実施を検討すべきと思うがいかがか。</p> <p>5. 東日本大震災で市が得た教訓と課題は何か</p> <p>(1) 東日本大震災で市が得た教訓と課題は何か。また課題についてはどう今後の行政計画に生かすのか</p>